

## 教員資格及び教育内容等の自己評価書

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
医療健康学部理学療法学科	8人	1人	1人	2人	12人	8人	11人	0人	31人	22人	
医療健康学部作業療法学科	4人	1人	1人	2人	8人	8人	6人	0人	31人	11人	
計	12人	2人	2人	4人	20人	16人	17人	0人	31人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・専門基礎・専門)	指定規則教育内容	相当授業科目名	担当コマ数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
理学療法学科					
基礎		スポーツ	30	松下 高信	兼任
基礎		スポーツ理論	30	松下 高信	兼任
基礎		レクリエーション活動 I	30	角越 睦	兼任
基礎		レクリエーション活動 II	30	角越 睦	兼任
基礎		英語I	30	ローリー・ウェスリー ・茶谷 丹久	兼任
基礎		英語II	30	David Abe・竹腰 敦	兼任
基礎		英語III	30	リチャード ショックリー ・守屋 哲治	兼任
基礎		英語IV	30	David Abe・熊田 キャロリン ・茶谷 丹久	兼任
基礎		言葉と文化 (英語) I	30	竹腰 敦	兼任
基礎		言葉と文化 (英語) II	30	竹腰 敦	兼任
基礎		言葉と文化 (中国語) I	30	呂 夢	兼任
基礎		言葉と文化 (中国語) II	30	呂 夢	兼任
基礎		医学英語	30	打出 喜義	兼任
基礎		情報処理演習	30	原田 魁成・川邊 弘之	兼任
基礎		基礎演習I	30	山本 拓哉・東 利紀	専任
基礎		基礎演習II	30	山本 拓哉・東 利紀	専任



基礎		東洋史	30	呂 夢	兼任	
専門基礎	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学I	30	佐藤 香緒里	専任	
専門基礎		解剖学II	30	佐藤 香緒里	専任	
専門基礎		解剖学III	30	佐藤 香緒里	専任	
専門基礎		解剖学IV	15	吉武 将司・佐藤 香緒里 ・小島 聖・森島 春香 ・川口 朋子・東 利紀	専任および兼任	
専門基礎		解剖学実習	45	佐藤 香緒里・小島 聖 ・森島 春香・神谷 晃央 ・東 利紀	専任および兼任	
専門基礎		生理学I	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		生理学II	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		生理学実習	45	吉武 将司・佐藤 香緒里 ・市丸 徹・西本 壮吾 ・東 利紀	専任および兼任	
専門基礎		運動学I	30	河野 光伸・木林 勉	専任および兼任	
専門基礎		運動学II	30	寺尾 研二・酒野 直樹	専任および兼任	
専門基礎		運動学実習	45	河野 光伸・寺尾 研二 ・酒野 直樹・小島 聖	専任および兼任	
専門基礎		人間発達学	30	奥田 裕紀	兼任	
専門基礎		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	医学概論	30	打出 喜義	兼任
専門基礎			病理学	30	市丸 徹	兼任
専門基礎			臨床心理学I	30	渡邊 亮士	兼任
専門基礎	臨床心理学II		30	渡邊 亮士	兼任	
専門基礎	カウンセリング演習		30	渡邊 亮士	兼任	
専門基礎	高齢者の心理		30	山根 淳子	兼任	
専門基礎	障害者の心理		30	岩尾 貴	兼任	
専門基礎	精神医学		30	一ノ山隆司・高畑 脩平 ・浅田 真帆・長田 乾 ・内藤 暢茂・本郷 誠司 ・鈴木 孝治	兼任	
専門基礎	内科学I		30	佐久間 寛	兼任	
専門基礎	内科学II		30	佐久間 寛	兼任	
専門基礎	整形外科I		30	影近 謙治	兼任	
専門基礎	整形外科II		30	影近 謙治	兼任	
専門基礎	神経内科学I		30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎	神経内科学II		30	鬼頭 巧	専任	

専門基礎		小児科学	30	河野 晃	兼任
専門基礎		老年学	30	鬼頭 巧	専任
専門基礎		安全管理	15	佐久間 寛	兼任
専門基礎		感染防御	15	佐久間 寛	兼任
専門基礎		公衆衛生学	30	打出 喜義	兼任
専門基礎		栄養・薬理学	30	佐々木 賢太郎・高橋 達雄	専任および兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	15	染矢 富士子	兼任
専門基礎		リハビリテーション概論	15	永井 将太・河野 光伸 ・山本 拓哉・寺尾 研二 ・秋山 陽子・神谷 晃央 ・内 慶瑞・北山 幸枝 ・木林 勉	専任および兼任
専門基礎		地域リハビリテーション学	30	北谷 正浩	兼任
専門基礎		社会福祉概論I	30	内 慶瑞	兼任
専門基礎		社会福祉概論II	30	内 慶瑞	兼任
専門基礎		ケアマネジメント	30	磯貝 サエ子	兼任
専門		基礎理学療法学	理学療法学概論	30	木林 勉
専門	基礎理学療法治療学		30	山本 拓哉	専任
専門	理学療法研究法		15	永井 将太	専任
専門	病態運動学		30	神谷 晃央	専任
専門	理学療法管理学	理学療法管理学	30	木林 勉	専任
専門	理学療法評価学	理学療法評価概論	30	永井 将太	専任
専門		検査・測定論I	30	永井 将太・山本 拓哉 ・東 利紀	専任
専門		検査・測定論II	30	永井 将太・山本 拓哉 ・佐々木 賢太郎	専任
専門		検査・測定実習I	45	永井 将太・山本 拓哉 ・東 利紀	専任
専門		検査・測定実習II	45	永井 将太・山本 拓哉 ・佐々木 賢太郎	専任
専門		理学療法画像評価学	15	寺尾 研二	専任
専門	運動療法学	運動療法学I	30	神谷 晃央	専任
専門		運動療法学II	30	佐々木 賢太郎	専任
専門		運動療法学実習	45	永井 将太・小島 聖	専任
専門		物理療法学	30	寺尾 研二	専任
専門		物理療法実習	45	寺尾 研二・神谷 晃央	専任
専門		義肢装具学	30	神谷 晃央	専任

専門	理学療法治療学	義肢装具実習	45	神谷 晃央	専任
専門		日常生活活動学	30	木林 勉	専任
専門		日常生活活動実習	45	小島 聖・木林 勉	専任
専門		理学療法治療学Ⅰ (運動器)	30	小島 聖・寺尾 研二 ・佐々木 賢太郎	専任
専門		理学療法治療学Ⅱ (中枢1)	30	永井 将太	専任
専門		理学療法治療学Ⅲ (中枢2)	30	寺尾 研二・佐々木 賢太郎	専任
専門		理学療法治療学Ⅳ (内部疾患)	30	佐々木 賢太郎	専任
専門		理学療法治療学Ⅴ (小児)	30	小島 聖	専任
専門		スポーツリハビリ テーション	15	永井 将太・片田 敬太郎	専任および兼任
専門		リハビリテーション ・マネジメント演習	30	佐々木 賢太郎・東 利紀	専任
専門		理学療法治療学実習 Ⅰ	45	寺尾 研二・小島 聖 ・佐々木 賢太郎	専任
専門		理学療法治療学実習 Ⅱ	45	永井 将太・寺尾 研二	専任
専門		地域理学療法学	地域理学療法学	30	山本 拓哉・木林 勉
専門	生活環境学		30	山本 拓哉・木林 勉	専任
専門	地域福祉論		30	久富 郁代子	兼任
専門	臨床実習	総合臨床実習Ⅰ (通所・訪問)	40	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		総合臨床実習Ⅱ (評価)	200	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		総合臨床実習Ⅲ	640	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		地域支援実習	40	木林 勉	専任
専門		見学実習	40	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		客観的臨床能力評価	45	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任

専門	その他の科目	基礎ゼミⅠ	30	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		基礎ゼミⅡ	30	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		卒業研究ゼミⅠ	30	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		卒業研究ゼミⅡ	30	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		卒業論文	90	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任
専門		総合学習	30	永井 将太・鬼頭 巧 ・佐藤香緒里・山本拓哉 ・寺尾 研二・小島 聖 ・神谷 晃央・東 利紀 ・木林 勉・佐々木賢太郎	専任

作業療法学科					
基礎		スポーツ	30	松下 高信	兼任
基礎		スポーツ理論	30	松下 高信	兼任
基礎		レクリエーション活動Ⅰ	30	角越 睦	兼任
基礎		レクリエーション活動Ⅱ	30	角越 睦	兼任
基礎		英語Ⅰ	30	ローリー・ウェスリー ・茶谷 丹久	兼任
基礎		英語Ⅱ	30	David Abe・竹腰 敦	兼任
基礎		英語Ⅲ	30	リチャード ショックリー ・守屋 哲治	兼任
基礎		英語Ⅳ	30	David Abe・熊田 キャロリン ・茶谷 丹久	兼任
基礎		言葉と文化 (英語)Ⅰ	30	竹腰 敦	兼任
基礎		言葉と文化 (英語)Ⅱ	30	竹腰 敦	兼任
基礎		言葉と文化 (中国語)Ⅰ	30	呂 夢	兼任



基礎		美術	30	山下 和子	兼任	
基礎		日本文学I	30	和田 康一郎	兼任	
基礎		日本文学II	30	和田 康一郎	兼任	
基礎		日本史I	30	加納 宏志	兼任	
基礎		日本史II	30	加納 宏志	兼任	
基礎		東洋史	30	呂 夢	兼任	
専門基礎	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学I	30	佐藤 香緒里	専任	
専門基礎		解剖学II	30	佐藤 香緒里	専任	
専門基礎		解剖学III	30	佐藤 香緒里	専任	
専門基礎		解剖学IV	15	吉武 将司・佐藤 香緒里 ・小島 聖・森島 春香 ・川口 朋子・東 利紀	専任および兼任	
専門基礎		解剖学実習	45	佐藤 香緒里・小島 聖 ・森島 春香・神谷 晃央 ・東 利紀	専任および兼任	
専門基礎		生理学I	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		生理学II	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		生理学実習	45	吉武 将司・佐藤 香緒里 ・市丸 徹・西本 壮吾 ・東 利紀	専任および兼任	
専門基礎		運動学I	30	河野 光伸・木林 勉	専任および兼任	
専門基礎		運動学II	30	寺尾 研二・酒野 直樹	専任および兼任	
専門基礎		運動学実習	45	河野 光伸・寺尾 研二 ・酒野 直樹・小島 聖	専任および兼任	
専門基礎		人間発達学	30	奥田 裕紀	兼任	
専門基礎			医学概論	30	打出 喜義	兼任
専門基礎			病理学	30	市丸 徹	兼任
専門基礎		臨床心理学I	30	渡邊 亮士	兼任	
専門基礎		臨床心理学II	30	渡邊 亮士	兼任	
専門基礎		カウンセリング演習	30	渡邊 亮士	兼任	
専門基礎		高齢者の心理	30	山根 淳子	兼任	
専門基礎		障害者の心理	30	岩尾 貴	兼任	
専門基礎		精神医学	30	一ノ山 隆司・高畑 脩平 ・浅田 真帆・長田 乾 ・内藤 暢茂・本郷 誠司 ・鈴木 孝治	兼任	

専門基礎	疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	内科学I	30	佐久間 寛	兼任	
専門基礎		内科学II	30	佐久間 寛	兼任	
専門基礎		整形外科I	30	影近 謙治	兼任	
専門基礎		整形外科II	30	影近 謙治	兼任	
専門基礎		神経内科学I	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		神経内科学II	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		小児科学	30	河野 晃	兼任	
専門基礎		老年学	30	鬼頭 巧	専任	
専門基礎		安全管理	15	佐久間 寛	兼任	
専門基礎		感染防御	15	佐久間 寛	兼任	
専門基礎		公衆衛生学	30	打出 喜義	兼任	
専門基礎		栄養・薬理学	30	佐々木 賢太郎・高橋 達雄	専任および兼任	
専門基礎		保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション 医学	15	染矢 富士子	兼任
専門基礎			リハビリテーション 概論	15	永井 将太・河野 光伸 ・山本 拓哉・寺尾 研二 ・秋山 陽子・神谷 晃央 ・内 慶瑞・北山 幸枝 ・木林 勉	専任および兼任
専門基礎	地域リハビリテー ション学		30	北谷 正浩	兼任	
専門基礎	社会福祉概論I		30	内 慶瑞	兼任	
専門基礎	社会福祉概論II		30	内 慶瑞	兼任	
専門基礎	ケアマネジメント		30	磯貝 サエ子	兼任	
専門	基礎作業療法学	作業療法学概論	30	河野 光伸	専任	
専門		基礎作業療法学	30	森島 春香	専任	
専門		作業科学と運動・動作分	30	吉武 将司・酒野 直樹	専任	
専門		作業療法研究法	30	河野 光伸	専任	
専門	作業療法教育管理学	作業療法管理学	30	河野 光伸	専任	
専門	作業療法評価学	作業療法評価概論	30	鈴木 孝治	専任	
専門		検査・測定論I	30	森島 春香・川口 朋子	専任	
専門		検査・測定論II	30	森島 春香・川口 朋子	専任	
専門		検査・測定実習I	45	森島 春香・川口 朋子	専任	
専門		検査・測定実習II	45	森島 春香・川口 朋子	専任	
専門		作業療法治療学 I (身体)	30	鈴木 孝治	専任	

専門	作業療法治療学	作業療法治療学Ⅱ (整形系)	30	吉武 将司	専任	
専門		作業療法治療学Ⅲ (中枢)	30	酒野 直樹	専任	
専門		作業療法治療学Ⅳ (精神)	30	鈴木 孝治	専任	
専門		作業療法治療学Ⅴ (内部疾患)	30	河野 光伸	専任	
専門		作業療法治療学Ⅵ (老年期)	30	酒野 直樹	専任	
専門		作業療法治療学Ⅶ (高次脳機能)	30	鈴木 孝治	専任	
専門		作業療法治療学Ⅷ (発達)	30	川口 朋子	専任	
専門		作業療法治療学実習 Ⅰ (身体)	45	森島 春香・鈴木 孝治	専任	
専門		作業療法治療学実習 Ⅱ (中枢)	45	酒野 直樹	専任	
専門		作業療法治療学実習 Ⅲ (精神)	45	鈴木 孝治	専任	
専門		義肢装具学	30	吉武 将司	専任	
専門		義肢装具実習	45	吉武 将司	専任	
専門		日常生活活動学	30	川口 朋子	専任	
専門		日常生活活動実習	45	河野 光伸・川口 朋子	専任	
専門		スポーツリハビリ テーション	15	永井 将太・片田 敬太郎	兼任	
専門		作業学	45	森島 春香	専任	
専門		地域作業療法学	地域作業療法学	30	吉武 将司	専任
専門			生活環境学	30	酒野 直樹	専任
専門			地域福祉論	30	久富 郁代子	兼任
専門		臨床実習	総合臨床実習Ⅰ (通所・訪問)	40	河野 光伸・吉武 将司 ・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門	総合臨床実習Ⅱ (評価)		200	河野 光伸・吉武 将司 ・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任	
専門	総合臨床実習Ⅲ		640	河野 光伸・吉武 将司 ・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任	
専門		地域支援実習	40	木林 勉	兼任	
専門		見学実習	40	河野 光伸・吉武 将司・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任	
専門		基礎実習Ⅰ	45	河野 光伸・吉武 将司・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任	

専門	その他の科目	基礎実習II	45	河野 光伸・吉武 将司・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		基礎実習III (学外)	40	河野 光伸・吉武 将司・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		客観的臨床能力評価	30	河野 光伸・吉武 将司・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		基礎ゼミI	30	河野 光伸・酒野 直樹 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		基礎ゼミII	30	河野 光伸・酒野 直樹 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		卒業研究ゼミI	30	河野 光伸・酒野 直樹 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		卒業研究ゼミII	30	河野 光伸・酒野 直樹 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		卒業論文	90	河野 光伸・酒野 直樹 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任
専門		総合学習	30	河野 光伸・吉武 将司・酒野 直樹・森島 春香 ・川口 朋子・鈴木 孝治	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
病院や介護施設、障がい者施設の見学	1年通年	見学実習（理学療法学科）	1年通年
病院や介護施設、障がい者施設の見学・体験	1年通年	見学実習（作業療法学科）	1年通年
地域でのリハビリテーションに関する予防活動体験	1年通年	地域支援実習 （理学・作業療法学科）	1年通年
病院や介護施設等での実践・体験	2年通年	基礎実習III（学外）（作業療法学科）	2年通年
通所・訪問リハビリテーションの体験・実践	2年通年	総合臨床実習I（通所・訪問） （理学・作業療法学科）	2年通年
病院や介護施設等での実践	3年後期	総合臨床実習II（評価） （理学・作業療法学科）	3年後期
病院や介護施設等での実践	4年前期	総合臨床実習III （理学・作業療法学科）	4年通年

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検評価委員会
委員名（委員長）	佐々木 賢太郎 教授
組織の開催頻度	月1回 定例開催
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会組織が作成する事業計画書，事業報告書の点検・評価，運営委員会への報告</li> <li>・ アセスメントプランに沿った各委員会組織の活動に対する検証作業</li> <li>・ 各種団体，各学部で実施する外部部評価会議の実施サポート など</li> </ul>
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： <a href="https://www.kinjo.ac.jp/ku/outline/jihee.html">https://www.kinjo.ac.jp/ku/outline/jihee.html</a> ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教学委員会
	委員構成等	理学・作業療法学科の教学委員および教学支援部
	改善の仕組みの実際	FD研修会において教員向けのシラバス記載に関する研修を行った上で、シラバスを作成している。その後、全シラバスを教学委員で確認し、適宜修正を指示している。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本高等教育機構（金城大学の受審）、リハビリテーション教育評価機構（医療健康学部の受審）、日本作業療法士協会WFOT認定審査会（作業療法学科の受審）による認証評価を受審し、すべての機構・協会から適合の評価を受けている。</li> <li>・2年ごとに医療健康学部独自で学外有識者による評価（外部評価）を開催し、当学部の教育活動に対する意見をいただき、自己点検・評価を実施している。</li> <li>・金城学園本部理事、監事、法人監査室による公的研究費に係る管理・監査等に係る会議を開催し、研究費助成に対する自己評価・点検を実施している。</li> <li>・学長のリーダーシップの元、副学長、専務理事、各学部の学部長、事務局長による学部長会議を毎月開催し、学内の教育研究活動の遂行状況を管理している。</li> <li>・上記の第三者評価、学部評価等を継続しつつ、自己点検・評価を実施することで、改善・向上に努める。</li> </ul>
--